EPSON EasyMP™ 活用ガイド

EMP-7850







プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使い方)

シナリオに組み込めるファイル	3
シナリオの作成と転送	4
シナリオの作成	5
シナリオの転送	8
こんなときには	10

プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

CardPlayer で投写できるファイル	15
CardPlayer の使用方法	16
CardPlayer の起動方法	16
CardPlayer の終了方法	17
CardPlayer の基本操作	18
シナリオの投写	21
シナリオの再生	21
プレゼンテーション中の操作	22
シナリオの編集	22
画像・動画ファイルの再生	24
画像・動画を再生する	24
フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生	する
(スライドショー)	25
画像・動画ファイルの表示条件と	
操作モードを設定する	26

高度な使い方

コンピュータから設定・監視・制御をする	29
Web ブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)	
EMP Monitor を使って監視や制御をする	32
メール通知機能で異常を通知する	
SNMP を使って管理する	



プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使い方)

ここでは、シナリオの作成、転送方法について説明しています。

シナリオに組み込めるファイル	3
シナリオの作成と転送	4
 シナリオの作成 	5
・シナリオの転送	8
 こんなときには 	
 ・シナリオの簡易作成 	
 ・コンピュータ上でシナリオの投写状態を 	
確認したいとき	11
・アニメーションの設定	

シナリオに組み込めるファイル

3

シナリオとして、1 つのファイルに組み合わせることができるファ イルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
PowerPoint	.ppt	Microsoft PowerPoint 2000/2002
画像	.bmp	
	.jpg	バージョンを問いません。ただ し、CMYKカラーモード形式、プ ログレッシブ形式のものは再生 できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720× 576までで、DVDと同じ(シーケ ンスヘッダがGOPごとに配置さ れている)形式でないと再生でき ません。 再生できる音声形式は、MPEG1 レイヤー2です。リニアPCMと AC-3は再生できません。 使用するメモリカードは、コンパ クトフラッシュカードまたは カード型のハードディスクドラ イブを推奨します。上記以外のメ モリカードを使用すると、正しく 再生できないことがあります。ま た、アクセス速度が遅いコンパク トフラッシュカードを使用する と、正しく再生されなかったり、 音声が音飛びしたり音が出なく なったりすることがあります。
音声	.wav	PCM、22.05/44.1/48.0kHz、8/16 ビット

#11			
● PowerPointの「スライ	ドショー」メニューで設定	した画面切り替え	
の効果とアニメーショ	ョンのうち、シナリオにも	反映されるものは次	
のとおりです。			
• スライドイン	• ブラインド	• ボックス	
● チェッカーワイプ	• クロール	• ディゾルブ	
• ピーク	• ランダムストライプ	• スパイラル	
● スプリット	• ストレッチ	• ストリップ	
・ターン	• ワイプ	・ズーム	
上記以外の画面切り	替えの効果とアニメーシ:	ョンは「カット」に置	
き換えられます。			
 	動画ファイルをファイル	単独で再生したい場	
合は、シナリオにする必要はありません。メモリカードにファイル			
をそのまま保存した	- あとで、プロジェクタ·	ーにセットすれば	
CardPlayer機能で直接	接再生して投写できます 。	🖝 p.24	

本機以外のプロジェクターの同梱ソフトで作成したシナリオについて、本機の EMP SlideMaker2 で開くことができるものとできないものは次表のとおりです。

プロジェクター	ソフト	本機のEMP SlideMaker2で開く
ELP-735	EMP SlideMaker2	0
ELP-8150/8150NL	EMP Scenario	X
ELP-715/505	EMP SlideMaker	X

EasyMP 活用ガイド

PowerPointファイルや画像・動画ファイルを組み合わせて、投写する順番に並べて1つのファイルとして保存したものを、本書では「シナリオ」と呼びます。シナリオはEMP SlideMaker2で作成します。

EMP SlideMaker2 を使うと、元となるファイルを編集せずに、必要な部分を抽出、並び替えて、簡単に、そして効率的にプレゼンテーション資料を準備できます。



作成したシナリオはコンピュータにセットしたメモリカードに転送し ます。そのメモリカードをプロジェクターのカードスロットにセット して、プロジェクターに搭載のCardPlayerでシナリオを投写します。



EasyMP 活用ガイド

シナリオの作成

シナリオを作成する前に、次の点を確認してください。

- PowerPoint、画像・動画などの組み合わせるデータは、あらかじめ 作成しておきます。
- ・前述の「シナリオに組み込めるファイル」に記載されているファイル以外は使用できません。

操作



2

コンピュータでWindowsを起動し、「スタート」ー「プログ ラム」(または「すべてのプログラム」)ー「EPSON Projector」ー「EMP SlideMaker2」の順に選択します。 EMP SlideMaker2 が起動し、シナリオのプロパティが表示され ます。

次の表を参照して各項目を入力し、「OK」ボタンをクリッ クします。

プロパティ シナリオ名(P): CMPLAN01 作業用フォルダ(D): C:¥PROGRAM FILES¥EMP SLIDEMAKER2 参照(B)... • (<u>M</u>)... □ BGMを設定する(W) 背景色 色(<u>C</u>): -画質 ○ 最高画質(N): 約700KByte/1セル 約350KByte/1セル ○ 高画質(H): € 標準(<u>S</u>): 約100KByte/1セル OK キャンセル

シナリオ名	作成するシナリオのファイル名と、作業用フォル ダ名になります。必ず入力してください。アル ファベットの大文字と数字を8文字まで入力でき ます。次項の作業用フォルダのディレクトリと合 わせて127文字以内になるようにしてください。	
作業用フォルダ	シナリオ作成時の作業用フォルダをどこに作成 するかを指定します。ここで指定したディレクト リにフォルダが作られます。	
BGM を設定する	シナリオ再生中にBGMを流したいときにクリッ クしてチェックマークを付けます。チェックマー クを付けると、音声ファイル(WAVE形式)を選択 する画面が表示されます。この画面で、BGMとし て使用するファイルを選択します。 音声ファイル選択後、右側の「♪」ボタンをクリック すると、選択した音声ファイルが再生されます。 「■」ボタンをクリックすると再生を停止します。	
背景色	シナリオ中の画像データの背景を選択します。	
画質	EMP SlideMaker2はPowerPointファイルの各スラ イドをJPEGファイルに変換して保存します。この 項目では、JPEGファイルに変換するときの画質を 選択します。 JPEGファイルは特性上、圧縮率が高いと、圧縮率 の低いJPEGファイルに比べて画質が粗くなりま すが、ファイルサイズは小さくなり、投写に時間 がかかりません。 ここでの設定項目では、「最高画質」、「高画質」、「標 準」の順に圧縮率が高くなります。したがって、「最 高画質」に設定した場合は、高画質でサイズの大き いJPEGファイルで保存されます。 「標準」に設定した場合は、他に比べて画質が低く なりますが、サイズの小さいJPEGファイルで保存 されます。 シナリオに直接JPEGファイルを組み込んだ場 合、その画面に対しては上記の各設定は無効とな り、元のファイルの圧縮率が有効となります。	

5

ポイント

一度、設定した内容は、「ファイル」-「プロパティ」で変更できます。

3

-フォルダウィンドウ

シナリオで使うファイルを選択します。



サムネイルウィンドウ

ファイルウィンドウでクリックしたファイルの内容がサムネイル で表示されます。

ファイルウィンドウ

フォルダウィンドウで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

フォルダウィンドウで、目的のフォルダをクリックすると、 ファイルウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

画像ファイルの場合は、ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックすると、ファイルの内容がサムネイルウィンドウに表示されます。

動画ファイルの場合は、アイコンがサムネイルウィンドウに表示されます。

ファイルウィンドウで、ファイルアイコンをダブルクリックすると、シナリオウィンドウ内に選択したファイルが表示されます。

PowerPointファイルは、次の2通りの方法でシナリオに取り込みます。

• PowerPointファイル内の全スライドを取り込む

- ファイルウィンドウで目的の PowerPoint ファイルをダブル クリックする。
- ②メッセージを確認後「OK」ボタンをクリックする。自動的に スライドショーが実行される。

キーボードの[Esc]キーを押すとスライドショーが中止される。その場合、実行済みのスライドはシナリオに取り込まれる。

③スライドショーが終了したらクリックする。

ファイル内の全スライドがシナリオウィンドウに表示され る。

上記手順で取り込んだ場合、シナリオに取り込んだあとも PowerPoint で設定したアニメーションが保持されます。した がって、シナリオを CardPlayer で投写する際にアニメーション が有効に働きます。

サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを取り込む

①ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックする。
 ②シナリオに取り込むサムネイルをダブルクリックする。

目的のスライドがシナリオウィンドウに表示される。

上記手順で取り込んだ場合、PowerPoint で設定したアニメー ションはシナリオに取り込んだあとは、すべて無効となりま す。

アニメーションを保持しているスライドは、シナリオウィンド ウのセルに「.EMA」と表示されます。アニメーションを保持し ていないスライドはセルに「.JPG」と表示されます。「. EMA」と 表示されたセルをクリックすると、アニメーションの各動作が アニメーション確認ウィンドウに表示されます。

- お使いのコンピュータに PowerPoint がインストールされていない 場合は、サムネイルを表示することはできません。
- アニメーションは、EMP SlideMaker2のプロパティ画面でも設定で きますが、あらかじめ PowerPoint で設定したアニメーションの方 が、シナリオ再生時の動作がなめらかです。PowerPointのスライド にアニメーションを設定したい場合は、PowerPointで設定すること をお薦めします。画像にアニメーションを設定したい場合や、設定 したアニメーションを保持せずに、シナリオに取り込んだスライド にアニメーションを設定したい場合は、EMP SlideMaker2のプロパ ティ画面で設定してください。 C p.12
- PowerPointで設定できるアニメーションで、以下のアニメーション はシナリオにも反映されます。
- スライドイン • ブラインド • ボックス
- チェッカーワイプ
 クロール • ディゾルブ
- ランダムストライプ
 スパイラル ・ピーク
- スプリット ストレッチ • ストリップ ・ズーム
- ターン ・ワイプ

上記以外のアニメーションは「カット」に置き換えられます。

ファイルやスライドを追加、削除したり順番を入れ替え 4 たりしてシナリオを完成させます。

シナリオウィンドウに表示されている内容は、プロジェクター のCardPlayerで投写したとき、上から順番に投写されます。

ファイルやスライドを追加するとき

ファイルウィンドウに表示されているファイルや、サムネイ ルウィンドウに表示されている PowerPoint のスライドを、シ ナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップ します。

複数のスライドを追加するとき

サムネイルウィンドウで、追加したいスライドを順次クリッ クしていきます。クリックしたスライドはすべて選択されま す。選択したスライドをもう1度クリックすると、選択が解除 されます。追加したいスライドをすべて選択したら、選択し たスライドの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所に ドラッグ&ドロップします。選択したスライドがすべてシナ リオに追加されます。

●複数のファイルを追加するとき

ファイルウィンドウで、キーボードの[Ctrl]キーを押したま ま、追加したいファイルアイコンを順次クリックしていきま す。クリックしたファイルはすべて選択されます。アイコン 外の白い領域をクリックすると選択が解除されます。追加し たいファイルをすべて選択したら、選択したファイルの1つ をシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ド ロップします。選択したファイルがすべてシナリオに追加さ れます。

削除するとき

削除したいセルでマウスを右クリックし、表示されたメ ニュー(ショートカットメニュー)で「切り取り」を選択しま す。



• 順番を入れ替えるとき

移動したいセルをシナリオウィンドウ内でドラッグ&ド ロップして入れ替えるか、ショートカットメニューを表示 し、「切り取り」を選択後、「貼り付け」を実行して入れ替えま す。



シナリオウィンドウ内に追加することができます。

•	「シナリオ転送」を実行すると、シナリオファイルが「シナリオ名
	.sit」という名前でメモリカード内に保存されます。また、シナリオ
	名と同名のフォルダが作られ、各画面が画質の設定に応じた画像
	ファイルに変換され、そこに保存されます。
•	保存を行わずに「シナリオ転送」を実行した場合は、作業用フォルダ
	内にも「シナリオ名.sit」というファイルとシナリオ名と同名のフォ
	ルダが作られ、そこに各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに
	変換され、保存されます。

シナリオの転送

作成したシナリオをプロジェクターで投写するには、EMP SlideMaker2の「シナリオ転送」でメモリカードにシナリオを転送しま す。

転送先には、コンピュータのカードドライブにセットしているメモリカードを指定します。

シナリオをプロジェクター起動時に自動的に投写したり、繰り返し て投写するように設定することもできます。自動的に投写する機能 を「オートラン」といいます。





シナリオが完成したら、メモリカードをコンピュータに セットして「シナリオ操作」-「シナリオ転送」を選択しま す。



転送先のドライブを指定するダイアログボックスが表示 されます。メモリカードがセットされているドライブを 選択して「OK」ボタンをクリックします。

- **3** 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 転送が終了すると、オートランの設定を行うか確認する メッセージが表示されます。オートランや繰り返しの設 定をする場合は、「OK」ボタンをクリックして次の手順に 進みます。設定をしない場合は、「キャンセル」ボタンをク リックすると終了します。

EMP SlideMaker2	×
転送したシナリオをオー	トラン編集しますか?
OK	キャンセル

5 左側のシナリオファイルリストに、メモリカード内のす べてのシナリオファイルが表示されます。

オートラン編集	×
ドライブ(型): 🗐 リムーバブル ディスク	- 届り返し実行(<u>R</u>):
シナリオファイルリスト(<u>F</u>): ァ	オートランシナリオファイルリスト(<u>A</u>):
OK	キャンセル

プロジェクターの電源を入れたときに、シナリオを自動投写す る場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオ名をク リックして、「≫」ボタンをクリックします。右側のオートラン シナリオファイルリストにシナリオが表示され、オートラン ファイルとして設定されます。

シナリオの投写が終了したら自動的に最初から投写し直す場 合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオを選択して 「繰り返し実行」にチェックマークを付けます。

ターポイント

- オートランの設定は、「シナリオ操作」−「オートラン編集」を選択しても実行できます。
- オートランの設定はEasyMPのCardPlayerでは指定できません。
- オートランに設定したファイルが2つ以上ある場合は、オートラン シナリオファイルリストの上から順に再生されます。
- 6 シナリオを転送したメモリカードをプロジェクターに セットしてCardPlayerで投写します。 ● p.21



こんなときには

■ シナリオの簡易作成

PowerPointの1つのファイルをそのままシナリオにする場合は、 PowerPointファイルのアイコンを、デスクトップ上のEMP SlideMaker2のプログラムアイコン上へドラッグ&ドロップします。

internet Explorer	
〕だらーか は アクタ EMP SlideMaker2	My Abums My eBooks My Pictures File0001.bmp movie01.mpe Pian01.ppt Plan02.ppt
<u>通73-ト</u> 🖉 🛱 🖉	7 @0779z0ト 의장 200 2 》] <mark>771 ドキュ20ト</mark>

0		
SG.	ポイント	
C S	ホインド	
		+7 チレー

- EMP SlideMaker2起動中はシナリオの簡易作成はできません。
 EMP SlideMaker2を終了してから実行してください。
- PowerPointのファイルを複数選択してEMP SlideMaker2のプログラムアイコンへドラッグ&ドロップした場合、マウスカーソルが指しているアイコンのファイルだけがシナリオになります。
- シナリオの簡易作成を実行した場合、PowerPointのファイルにある すべてのスライドからシナリオを作成します。投写したくないスラ イドがある場合は、該当のセルを右クリックして「非表示」を選択し ます。
- PowerPointで設定できるアニメーションで、次のアニメーションは シナリオにも反映されます。

・スライドイン	•ブラインド	•ボックス
• チェッカーワイプ	•クロール	•ディゾルブ
• ピーク	•ランダムストライプ	•スパイラル
• スプリット	•ストレッチ	•ストリップ
・ターン	•ワイプ	•ズーム
上記以外のアニメーシ	ョンは「カット」に置き換	えられます。

■ コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認したいとき

作成したシナリオが、プロジェクターの CardPlayer で再生したとき にどのように投写されるかを、コンピュータ上で確認できます。画 像、アニメーション効果、BGM などシナリオの構成要素をすべて再 生します。



EMP SlideMaker2 で、確認したいシナリオを開いておきます。

(2)

「シナリオ操作」--「シナリオプレビュー」の順で選択しま す。

EMP SlideMaker2 - Cmplan01.sit				
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W)	シナリオ操作(<u>S</u>) ^ル7	°Ψ		
D FR X BR 8 5	シナリオ転送(S) シナリオ削除(D)	8		
すべてのファイル	オートラン編集(A) シナリオブレドュー(P)	l.sit	L	
田- 33 マイ コンピュータ		R	77111名	^
Ar K*ax2x MyDoc_tmp J79-75-2 Internet Explorer	1	4500748 - 100-	DCSD0000.JPG	
E 🙀 ネットワーク エンピュータ		10 - March Print - March March - March March		

3 シナリオプレビュー画面が表示されます。次の表を参考 にシナリオを操作します。



停止	再生を中止し、一番前のスライドに戻ります。
<u>」</u> 一時停止	シナリオ動作が「自動」に設定されているスライ ドを一時停止します。 ☞ p.13
▶再生	シナリオプレビューを開始します。また、停止または一時停止しているシナリオを再開します。シナリオ動作が「手動」に設定されている場合は、次のスライドを表示します。 ☞ p.13
▲巻き戻し	現在表示しているスライドの1つ前のスライドま たはアニメーション実行前の画面に戻ります。戻 る際はアニメーション効果は実行されません。
■早送り	現在表示しているスライドの1つ先のスライドま たはアニメーション実行後の画面に進みます。こ のときアニメーション効果は実行されません。
҈≪ボリューム	Volume Controlを起動します。BGMの音の大きさ を調整できます。
進行状況バー	シナリオの進行状況をバーで表示します。開始時 はバーの表示はなく、進行するにしたがって左か ら右にバーが伸びていきます。一番右までバーが 達すると終了です。

■ アニメーションの設定

EMP SlideMaker2では、PowerPointのアニメーション効果と同様の効 果をシナリオ内の各セルに設定できます。PowerPointで設定したア ニメーションを保持しているスライドは、分割されたコマごとに投 写時間やアニメーションを設定して投写することができます。この 場合は、アニメーション確認ウィンドウで目的のアニメーションを 右クリックして「セルのプロパティ」をクリックします。



あらかじめ PowerPoint でアニメーションを設定したファイルをシナ リオに取り込んだ方が、シナリオ再生時のアニメーションの動作が なめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定した い場合は、PowerPoint で設定することをお薦めします。画像ファイル にアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを 保持せずに、シナリオに取り込んだスライドにアニメーションを設 定したい場合は、ここで説明している方法で設定します。

4 確認し終わったら、画面右上の「図」ボタンをクリックしてシナリオプレビュー画面を閉じます。

操作

1

目的のセル、またはアニメーションで右クリックし、 「セルのプロパティ」を選択します。

複数のセル、またはアニメーションに同じ設定をする場合は、 キーボードの[Shift]キー、または[Ctrl]キーを押したままク リックして複数のセルを選択してから、右クリックして「セル のプロパティ」を選択します。



2

プロパティ画面が表示されます。次の表を参照して項目 を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



シナリオ動作	「自動」を選択した場合は、切り替える時間を0秒から1800秒の間で設定できます。「手動」にした場合は、投写時にリモコンの[・]または[・]ボタンを押して切り替えます。
アニメーショ ン効果	投写中に画面を切り替えるときの効果を指定できます。 選択したアニメーションによっては、「方向」を選択します。 効果の一例を次に示します。 スライドイン:指定した方向から画面を切り替えます。 ボックスワイプイン:内側から画面を切り替えます。



プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

ここでは、EMP SlideMaker2でメモリカードに転送したシナリオと、画像・動画ファイルをプロジェクターで投写する操作を説明します。画像・動画ファイルが保存されたメモリカード、または写真を撮影したデジタルカメラを使います。

CardPlayerで投写できるファイル	15
CardPlayerの使用方法	16
• CardPlayer の起動方法	16
• CardPlayer の終了方法	17
• CardPlayer の基本操作	18
・Easy メニューの操作方法(ガイドモード)	18
・クイックモードでの操作方法	20
 ・画像を回転する 	20
シナリオの投写	21
 シナリオの再生 	21
•プレゼンテーション中の操作	22
 シナリオの編集 	22
画像・動画ファイルの再生	24
• 画像・動画を再生する	24
• フォルダ内のすべての画像 • 動画ファイルを順番	
に再生する(スライドショー)	25
画像・動画ファイルの表示条件と	
操作モードを設定する	26

CardPlayerで投写できるファイル

EasyMP 活用ガイド

CardPlayerで投写できるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.sit	シナリオ転送で作成されたシナリオ ファイルです。 シナリオ作成時にでBGM設定した音 声(.wav)も再生できます。 ELP-735とELP-715/505に添付のEMP SlideMakerで作成したシナリオも投 写できます。
画像	.bmp	24ビットカラーのもののみ投写でき ます。
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、 CMYKカラーモード形式、プログレッ シブ形式、解像度が2560×1920を超え るものは投写できません。
	.png	解像度が2560×1920を超えるものは 投写できません。

動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×576ま でで、DVDと同じ(シーケンスヘッダ がGOPごとに配置されている)形式で ないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイ ヤー2です。リニアPCMとAC-3は再生 できません。 使用するメモリカードは、コンパクト フラッシュカードまたはカード型の ハードディスクドライブを推奨しま す。上記以外のメモリカードを使用す ると、正しく再生できないことがあり ます。また、アクセス速度が遅いコン パクトフラッシュカードを使用する と、正しく再生されなかったり、音声 が音飛びしたり音が出なくなったり することがあります。
<u>DPOF</u> ₩	.mrk	DPOFのバージョンが1.10で、ファイ ル名がAUTPLAYx.mrk (xは0~9の数 字)のもののみ投写できます。



- ・
 拡張子が「.jpeg」のJPEGファイルと「.mpeg」のMPEGファイルは投 写できません。
- JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写され ないことがあります。

CardPlayerの使用方法

EasyMP 活用ガイド

プロジェクターにセットしたメモリカードに保存されているシナリオ や画像・動画ファイル、USBケーブルで接続したデジタルカメラ内の画 像ファイルを再生するには、EasyMPのCardPlayerを使用します。ここで は、CardPlayerの使用方法について説明します。

CardPlayerの起動方法



 プロジェクターのカードスロットにメモリカードをセットします。●『取扱説明書』「カードのセットと取り出し」 または、プロジェクターの[USB TypeA]端子に、デジタルカメラを接続したUSBケーブルを接続します。
 ●『取扱説明書』「デジタルカメラとの接続」

2 リモコンの[電源]ボタンを押し、プロジェクターの電源 を入れます。デジタルカメラを接続している場合は、デジ タルカメラの電源も入れます。 3 リモコンの[EasyMP]ボタンを押して投写画面に 「EasyMP」と表示されるのを確認してください。

CardPlayerが起動してメモリカードまたはデジタルカメラの内容が表示されます。JPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。それ以外のファイルとフォルダはアイコン表示されます。





- オートランの設定をしたシナリオがメモリカードにある場合は、最優先でそのシナリオを自動的に再生します。再生を中止したい場合は、リモコンの[ESC]ボタンを押します。
- プロジェクターのカードスロットにメモリカードがセットされていない、またはプロジェクターとデジタルカメラが USB ケーブルで接続されていないと、次の画面が表示されます。この場合は、メモリカードをセットするか、デジタルカメラを USB ケーブルで接続すると、手順3の画面が表示されます。



- プロジェクターにメモリカードがセットされ、CardPlayerで内容が 表示されているときに、デジタルカメラをプロジェクターに接続し ても、その内容を表示することはできません。同様に、デジタルカメ ラが接続され、CardPlayerで内容が表示されているときに、メモリ カードをセットしても、その内容を表示することはできません。
- JPEGファイルによっては、サムネイル表示に切り替えてもサムネ イルが表示できないことがあります。その場合はファイルアイコン が表示されます。

CardPlayerの終了方法



 リモコンの[○]ボタンを上に傾けて「EJECT」ボタンに カーソルを合わせます。





リモコンの[Enter]ボタンを押します。

CardPlayerが終了し、次の画面が表示されます。



3 プロジェクターのカードスロットからメモリカードを取り出します。デジタルカメラを接続している場合は、プロジェクターの[USB TypeA]端子から USB ケーブルを抜きます。

CardPlayerの基本操作

CardPlayerの操作には、次の2つの操作モードがあります。

- 「ガイドモード」:ファイル操作をするためのEasyメニューが表示されます。Easyメニューで項目を選択してファイルの再生やオプション設定などの操作をします。
- 「クイックモード」:ファイルの再生、フォルダを開く、シナリオ編 集時の移動元スライド選択と移動先決定を、 Easyメニューを使わずにリモコンの[Enter] ボタンを押すだけで実行できます。

初期設定では「ガイドモード」に設定されています。操作モードの設定方法については、「画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する」をご覧ください。 (**p**.26

クイックモードでの操作方法については、「クイックモードでの操 作方法」をご覧ください。 **●** p.20 Easy メニューの操作方法(ガイドモード)
 Easy メニューを使ってシナリオ、画像、動画の再生などをする手順 を説明します。



リモコンの[○]ボタンを傾けて、操作の対象となるファイ ルまたはフォルダにカーソルを合わせます。

現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダが表示しき れていない場合は、リモコンの[⊡]ボタンを押します。「次の ページ」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの[Enter]ボタ ンを押しても、同様に次の画面が表示されます。前の画面に戻 る場合は、リモコンの[⊡]ボタンを押すか、「前のページ」ボタ ンにカーソルを合わせてリモコンの[Enter]ボタンを押しま す。





リモコンの[Enter]ボタンを押します。 Easyメニューが表示されます。



ポイント

[Enter]ボタンを押したときに、シナリオ、画像、動画が再生された り、フォルダが開いたりする場合は、操作モードが「クイックモード」 になっています。 ● p.20

Easy メニューは選択するものによって以下のように表示される項目が異なります。

シナリオを選択した場合

シナリオ再生	シナリオを再生します。 🖝 p.21
シナリオ編集	シナリオの編集画面を表示します。 🖝 p.22
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

画像ファイルを選択した場合

画像再生	画像を再生します。 ● p.24
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

動画ファイルを選択した場合

動画再生	動画を再生します。 🖝 p.24
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

フォルダを選択した場合

フォルダを開 く	フォルダを開いてフォルダ内のファイルを表示します。 フォルダを開いた画面で、左上のフォルダアイコンを選 択して[Enter]ボタンを押します。表示されたメニューで 「一つ上の階層へ」を選択して[Enter]ボタンを押すと フォルダを開く前の画面に戻ります。
スライド ショー再生	フォルダ内の画像ファイルや動画ファイルを順次再生 します。 🖝 p.25
オプション	オプション設定画面を表示します。CardPlayerでスライ ドショー再生するときの表示条件と動作モードを設定 できます。 ☞ p.26
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

EasyMP 活用ガイド

■ クイックモードでの操作方法

クイックモードでは次のように、リモコンの[Enter]ボタンを押すと 主な機能を直接実行できます。リモコンの[ESC]ボタンを押すと Easyメニューが表示され、別の機能を実行することもできます。

ファイルまたはフォルダ選択時

[Enter]	フォルダ:開く シナリオ、画像、動画:再生
[ESC]	Easyメニュー表示

シナリオ編集中

[Enter]	移動元スライド選択、移動先決定
[ESC]	Easyメニュー表示

■ 画像を回転する

CardPlayerで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。ス ライドショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。 次の手順でJPEG形式の画像を回転します。

操作



2 JPEG 形式の画像が再生されたら、リモコンの[○]ボタン を左右に傾けます。

[①]ボタンの傾ける方向と画像の回転は下図のとおりです。













シナリオの投写

EasyMP 活用ガイド

ここでは、メモリカードに転送したシナリオの再生方法とシナリオ再 生中の操作方法、シナリオの編集方法について説明します。

シナリオの再生

再生するシナリオは、事前に EMP SlideMaker2 の「シナリオ転送」機能でメモリカードに転送しておきます。 ● p.8



操作

1

CardPlayerを起動します。 🖝 p.16

セットしているメモリカードの内容が表示されます。

- 2 リモコンの[○]ボタンを傾けて、再生するシナリオファイ ルにカーソルを合わせます。
- 3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード:[Enter]ボタンを押すと、Easy メニューが表示さ れます。[①]ボタンを上下に傾けて「シナリオ 再生」を選択して[Enter]ボタンを押します。



クイックモード:[Enter]ボタンを押します。

- 4 シナリオが再生されます。「シナリオ動作」が「自動」に設定されている場合は最後まで再生すると、ファイル一覧表示に戻ります。繰り返し設定がされているときは、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。
 「シナリオ動作」が「手動」に設定されている場合や、中止、停止を行うには、次の「プレゼンテーション中の操作」をご覧ください。
 ※ ポイント
 ・投写順の変更や表示・非表示の設定は、シナリオ編集画面で行います。 p.22
 - シナリオ再生中、JPEG形式の画像が投写されているときは、画像を 回転できます。

プレゼンテーション中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。

画面切り替え	[Enter]またはページ[•]ボタンを押すと、次の画面に進みます。 ページ[•]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
再生の中止	[ESC]ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了します か?」とメッセージが表示されます。「終了する」ボタンを 選択して[Enter]ボタンを押すと終了します。「戻る」ボタ ンを選択して[Enter]ボタンを押すと再生を続けます。

プロジェクター本体の次の機能はCardPlayerでシナリオや画像ファ イルを投写しているときも同様に使えます。

各機能の詳細 ●『取扱説明書』「静止機能」、「A/V ミュート機能」、「E ズーム機能」

 Fズーム ●静止

シナリオの編集

プロジェクターにセットしているメモリカードのシナリオ内のス ライドを投写する順番を変更したり、各スライドの表示・非表示を 編集したりできます。

操作

1 リモコンの[①]ボタンを傾けて、編集するシナリオにカー ソルを合わせます。

- 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 2 押します。
 - ガイドモード : [Enter]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「シナリオ編集」を選択 して[Enter]ボタンを押します。
 - クイックモード: [ESC] ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「シナリオ編集」を選択 して[Enter]ボタンを押します。

3 シナリオ編集画面が表示されます。

目的のスライドにカーソルを合わせます。スライドの順番を入 れ替える場合は手順4に、スライドを非表示にする場合は手順6 に進みます。

- 使用中の操作モードに合わせて、リモコンの以下のボタ 4 ンを押します。
 - ガイドモード :[Enter]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「ファイル移動」を選択 して[Enter]ボタンを押します。
 - クイックモード:移動したいスライドにカーソルを合わせて [Enter]ボタンを押します。

シナリオの投写

23



カーソルを移動先に合わせ、リモコンの[Enter]ボタンを 押します。



7 編集が終了したら、リモコンの[○]ボタンを上に傾けて 「OK」ボタンにカーソルを合わせて、リモコンの[Enter] ボタンを押します。

編集した内容でシナリオが保存され、ファイル一覧表示に戻り ます。

保存しない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせ て、リモコンの[Enter]ボタンを押します。



- ガイドモード :[Enter]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「表示/非表示」を選択し て[Enter]ボタンを押します。
- クイックモード:[ESC]ボタンを押すと、Easy メニューが表示 されます。メニューで「表示/非表示」を選択し て[Enter]ボタンを押します。





画像・動画ファイルの再生

メモリカードやデジタルカメラに保存されている画像・動画ファイル を、CardPlayer機能を使って再生するには、次の2通りの方法がありま す。

• 画像・動画ファイルの再生

1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。

 フォルダ内の画像・動画ファイルの順次再生(スライドショー) フォルダ内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する 機能です。

> 動画再生時は頻繁にメモリカードにアクセスします。そのとき にメモリカードをカードスロットから取り出すと、CardPlayer に異常が発生する場合があります。

画像・動画を再生する

操作

(1)

CardPlayerを起動します。 ● p.16 セットしているメモリカードまたは接続しているデジタルカ

メラの内容が表示されます。

- 2 リモコンの[○]ボタンを傾けて、再生する画像ファイルまたは動画ファイルにカーソルを合わせます。
- 3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード:[Enter]ボタンを押すと、Easy メニューが表示さ れます。メニューで「画像再生」または「動画再 生」を選択して[Enter]ボタンを押します。



クイックモード:[Enter]ボタンを押します。



画像または動画が再生されます。リモコンの[Enter]ボタンまたは[ESC]ボタンを押すと、ファイルー覧表示に戻ります。

EasyMP 活用ガイド





JPEG形式の画像を再生しているときは、画像を回転できます。 ● p.20

フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生する (スライドショー)

フォルダ内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ再生して投写で きます。この機能を「スライドショー」と呼びます。以下の手順でス ライドショーを実行します。



4 スライドショーが実行され、フォルダ内の画像・動画ファ イルが順に1つずつ再生されます。

最後まで再生すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。 オプション画面で「繰り返し再生」を「ON」に設定しているとき は、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。 ☞ p.26

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画 面に戻す、再生を中止することができます。 ●「プレゼンテー ション中の操作」 p.22

操作

1

CardPlayerを起動します。 🖝 p.16

セットしているメモリカードまたは接続しているデジタルカ メラの内容が表示されます。

- 2 リモコンの[○]ボタンを傾けて、スライドショーを実行す るフォルダにカーソルを合わせます。
- 3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード :[Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示さ れます。メニューで「スライドショー再生」を選 択して[Enter]ボタンを押します。
 - クイックモード:[ESC]ボタンを押すと、Easyメニューが表示さ れます。メニューで「スライドショー再生」を選 択して[Enter]ボタンを押します。

画像・動画ファイルの表示条件と操作モードを設定する

CardPlayer で画像・動画ファイルをスライドショー再生する場合の 表示条件と操作モードを設定できます。表示条件で設定できる内容 は繰り返し再生、表示時間設定、表示順序設定、画面切替効果、操作 モード切り替えです。

操作

- リモコンの[○]ボタンを傾けて、表示条件を設定するフォ ルダにカーソルを合わせます。
- 2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを 押します。
 - ガイドモード :[Enter]ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「オプション」を選択し て[Enter]ボタンを押します。
 - クイックモード:[ESC]ボタンを押すと、Easyメニューが表示 されます。メニューで「オプション」を選択し て[Enter]ボタンを押します。

3 各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせ、リモコンの [Enter]ボタンを押すと、設定が有効になります。 各項目の詳細は次の表のとおりです。



繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定しま す。
表示時間設定	ここで指定した時間が経過したら、次のファイルを 表示します。「なし」の場合は、リモコンの[Enter]ま たは[・]ボタンを押すと次のファイルに進みます。
表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。
画面切替効果	ファイルの内容を表示するときの効果を設定しま す。
操作モード切 替	CardPlayerでの操作モードを切り替えます。 初期設定は「ガイドモード」です。 ガイドモードの操作方法は「Easyメニューの操作方 法(ガイドモード)」(\bigcirc p.18)を、クイックモードの 操作方法は「クイックモードでの操作方法」 (\bigcirc p.20)をご覧ください。

EasyMP 活用ガイド

TOP



リモコンの[○]ボタンを上に傾けて「OK」ボタンにカーソ ルを合わせ、[Enter]ボタンを押します。

設定が適用されます。 設定を適用したくない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソル を合わせて、「Enter」ボタンを押します。





高度な使い方

ここでは、ネットワークを介して接続したコンピュータから、プロジェクターの設定を変更したり、管理したりする 方法を説明しています。

コンピュータから設定・監視・制御をする	29
•Web ブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)	29
・EasyWeb を表示する	29
 プロジェクターの設定 	30
・プロジェクターの制御	31
• EMP Monitor を使って監視や制御をする	32
 メール通知機能で異常を通知する 	36
 ・メール通知の設定 	36
・異常通知のメールが送られてきたら	36
• SNMP を使って管理する	37

コンピュータから設定・監視・制御をする

コンピュータとプロジェクターをネットワークで接続すると、コン ピュータから以下のようなプロジェクターの設定や管理ができます。

- Webブラウザを使ったネットワーク機能の設定とプロジェクターの 制御(EasyWeb)
- EMP Monitorを使ったプロジェクターの監視と制御(アクセスポイン トモードまたは有線LAN接続モード接続時のみ)
- <u>SNMP</u>*とSNMPマネージャプログラムを使った、プロジェクターの 状態やネットワーク設定の取得、プロジェクターの制御、異常報知(ア クセスポイントモードまたは有線LAN接続モード接続時のみ)

ここでは、上記3つの方法について説明します。

Webブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)

プロジェクターとネットワーク接続したコンピュータのWebブラウ ザを利用して、コンピュータからプロジェクターの設定や制御が行 えます。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設 定や制御の操作ができます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 5.0以降を使用してください。

ポイント

プロジェクターの環境設定メニューの「高度な設定 1」→「待機モー ド」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタ ンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御 ができます。

EasyWeb を表示する

以下のどちらかの手順で、EasyWebを表示します。

ポイント

ご使用の Web ブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、EasyWebを表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

Network Screenのツールバーを使う



- ネットワークを介してプロジェクターとコンピュータを 接続します。
 ぽEasyMP セットアップガイド』「簡単接 続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは 有線LAN接続モードで接続する」
- 2 Network Screenのツールバーの「プロジェクター操作 URL表示」アイコンをクリックします。

2 🖳 🗐 🐚 🛬 🕈 🐶 🔤 📼 💵 切断 📘 🖺



Webブラウザが起動し、EasyWebが表示されます。

プロジェクターのIPアドレスを入力する

プロジェクターのネットワーク設定で「アクセスポイントモード」に 設定している場合、または有線 LAN 接続モードで接続している場合 は、次のようにプロジェクターのIPアドレスを指定してEasyWebを開 くことができます。



■ プロジェクターの設定

プロジェクターの環境設定メニューや、Network Screen のネット ワーク詳細設定画面で設定する項目を設定できます。設定した内容 は、環境設定メニューや Network Screen のネットワーク詳細設定に 反映されます。

Webブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

次の項目を除いて、プロジェクターの環境設定メニューの全項目を 設定できます。

- ●「映像」→「プリセット登録」
- •「エフェクト」メニューのすべての設定項目
- ●「設定」→「台形補正」の「Quick Corner」
- 「ユーザーロゴ」メニューによるユーザーロゴの登録
- ●「高度な設定1」→「言語」
- ●「情報」→「ランプ点灯時間初期化」
- •「全初期化」

各メニューの項目の内容はプロジェクター本体の環境設定メ ニューと同じです。●『取扱説明書』「環境設定メニューの機能と操 作」 Network Screen での全設定項目を設定できます。ただし、「MAC アドレス」は表示されません。

ポイント

有線LANで接続しているときは、「無線LAN設定」は表示されません。

各項目の内容は、Network Screen のネットワーク詳細設定画面と同 じです。●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続 する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続 する」

ただし、WEP 暗号については、Web ブラウザからの設定では、HEX (16進)だけではなくテキストによるキーの入力ができます。

テキストでのキー入力によるWEP暗号設定の方法は、アクセスポイントにより異なります。そのため、参加するネットワークの管理者に確認し、まず「入力方式」で「TEXT1」を選択して設定してみてください。その設定で正しく暗号化されない場合は、

「TEXT2」や「TEXT3」を選択して設定してみてください。

「WEP暗号」で「128bit」を選択した場合、「キーID」は「0」しか選択できません。「40bit」を選択した場合、「0」、「1」、「2」、「3」のいずれかから選択できます。

■ プロジェクターの制御

EasyRemote を使うと、リモコンでプロジェクターを制御するのと同じように制御できます。

Easy Remote	DVI Comp EasyMP BNC S-Video Video	A/V531- 500 100-17	۲	
-------------	---	--------------------	---	--

各アイコンの機能は以下のとおりです。

<u>DVI</u> »	リモコンの[DVI]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、[DVI]端子から の映像に切り替えます。
Comp	リモコンの[Comp]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、[コンピュータ] 端子からの映像に切り替えます。
EasyMP	リモコンの[EasyMP]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、EasyMPの画面に 切り替えます。
BNC	リモコンの[BNC]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、[BNC]端子から の映像に切り替えます。
S-Video	リモコンの[S-Video]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、[S-ビデオ]端子 からの映像に切り替えます。
Video	リモコンの[Video]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターで投写する入力信号を、[ビデオ]端子か らの映像に切り替えます。
静止	リモコンの[静止]ボタンと同じ働きをします。 映像を一時停止します。ただし、音声は停止しません。も う一度クリックすると一時停止を解除します。プロジェ クター本体の静止機能と同じ機能です。
A/Vミュート	リモコンの[A/Vミュート]ボタンと同じ働きをします。 映像と音声を一時的に消します。もう一度クリックする と解除します。プロジェクター本体のA/Vミュート機能 と同じ機能です。
リサイズ	リモコンの[リサイズ]ボタンと同じ働きをします。 コンピュータの映像投写時に、リサイズ表示(投写サイズ いっぱいになるように投写)とリアル表示(入力信号の解 像度のまま投写)を切り替えます。

EasvMP 活用ガイド

音量	リモコンの[音量]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターの内蔵スピーカ、またはプロジェクターに 接続している外部スピーカの音量を調整します。「+」をク リックすると音量が上がり、「-」をクリックすると音量が 下がります。
電源	リモコンの[電源]ボタンと同じ働きをします。 プロジェクターの電源をオン/オフします。

EMP Monitorを使って監視や制御をする

コンピュータとプロジェクターを無線LANのアクセスポイントモー ドまたは有線LAN 接続モードで接続すると、EMP Monitor を使って、 ネットワーク上の複数のプロジェクターの状況確認をしたり、電源 のON/OFF や入力ソースの切り替えなどを一括して操作できます。 各教室や会議室に配置されているプロジェクターをいっせいに起 動したり、監視したりする場合に1人のオペレーターが一括して行 うことができます。

ポイント

- 最大64台のプロジェクターを一括して監視・制御できます。
- プロジェクターの環境設定メニューの「高度な設定1」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、EMP Monitorを使った設定や制御ができます。
- EMP Monitorを使った管理機能は、無線LANの簡単接続モードでは使用できません。

EMP Monitorを起動する前に、次の点をご確認ください。

- ・使用するコンピュータに EMP Monitor をインストールしておきます。
 ●『EasyMP セットアップガイド』「EasyMP Software のインストール」
- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは 有線 LAN 接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をし ておきます。●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイン トモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
- Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者権限のユー ザーに限り起動できます。

操作

 Windows で、「スタート」ー「プログラム」(または「すべて のプログラム」)ー「EPSON Projector」ー「EMP Monitor」 の順に選択します。

EMP Monitorが起動します。

2 EMP Monitor をインストール後、初めて起動したときや、 プロジェクターを追加登録したいときは、「プロジェク ター登録」アイコンをクリックします。すでにプロジェク ターを登録しており、追加登録しない場合は手順8に進み ます。

🔵 EMP I	Monitor												- 🗆 🗙
ファイルモ) 編集(表示①	ツール田	ヘルプ田)								
- 2 70) 最新表: ジェクター		e	プロジェクタ	-28								1
						_		全て選択(<u>合</u>)	詳細表示(0)	10	3 8		72
8	11版 名	ÐÎ					映像ソース	エラー情報					
	_	-	_	_	_	_					_	_	H



「自動検出」ボタンをクリックします。

現在、ネットワークで接続しているプロジェクターの名前が一 覧で表示されます。

プロジェクター登録		x
名前	1P7ドレス	自動検出(A)
		マニュアル登録(11)
		削除(<u>D</u>)
		編集(6)

パイント

登録したいプロジェクターの IP アドレスがわかっている場合は、マ ニュアル登録機能が便利です。「マニュアル登録」ボタンをクリック すると、以下のプロジェクターマニュアル登録画面が表示されます。 IP アドレスを入力して「確認」ボタンをクリックします。プロジェク ター名が表示されたら、「追加」ボタンをクリックします。プロジェク ター登録画面にプロジェクター名が追加されます。



4 状況確認や制御したいプロジェクター名を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

名前	IPアドレス	追加(A)
PROJECTOR01 •	169.254.10.176	
PROJECTOR02	169.254.10.177	
PROJECTOR03	169.254.10.178	
Room201	169.254.207.64	
Room202	169.254.207.65	
Room301	169.254.207.66	
Room302	169.254.207.67	
Room303	169.254.207.68	
Room401	169.254.207.69	

選択したプロジェクター名

5 他に監視したいプロジェクターがある場合は、手順4 を繰 り返します。





監視したいプロジェクターをすべて追加したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

プロジェクター登録画面に戻り、追加したプロジェクター名が 表示されます。

名前	IPアドレス	自動検出(A)
PROJECTOR01	169.254.10.176	
PROJECTOR03	169.254.10.178	,///±0/0000
PROJECTOR04	169.254.10.179	肖/序余(<u>D</u>)
Room202	169.254.207.65	(石生/に)
💭 Room301	169.254.207.66	偏床吃/
💭 Room303	169.254.207.68	
Room402	169.254.207.70	

□ : 自動検出機能で登録したプロジェクター
 □ : マニュアル登録機能で登録したプロジェクター



目的のプロジェクターをすべて登録したら、「閉じる」ボ タンをクリックします。

監視したくないプロジェクターが登録されている場合は、その プロジェクター名を選択し、「削除」ボタンをクリックすると削 除されます。



マニュアル登録機能で登録したプロジェクターのIPアドレス^{>>}が変更になった場合は、プロジェクター名を選択して「編集」ボタンをクリックすると、IPアドレスの変更ができます。自動検出機能で登録したプロジェクターに対しては「編集」ボタンは使用できません。

8 登録したプロジェクターの状態がそれぞれ表示されま す。

ー度登録しておけば、以降は EMP Monitor を起動するたびに、 登録されているプロジェクターの状態を自動的に表示します。

● EMP Monit ファイル(E) お	tor 羅集(E) 表示(V) ツール(E) ヘルブ(H)		-
-2 al	M表示 G フロジェクター登録		
プロジェク	»- (a)		
抚服	名前	映像ソース	
0	PROJECTOR01	(83589)	
	PROJECTOROS		
	PROJECTOR04	670	
0	Room202	6 s	
	Room301		
	Room303	6	
	Room402		
			<u>ه</u>

表示内容は次の表のとおりです。

状態:プロジェクターの状態を次のようにアイコンで示しています。			
	電源ON異常なし		
۲	電源OFF異常なし		
	電源ON異常あり		
	電源OFF異常あり		
	ネットワークエラー(ネットワーク接続されていない、電源 ケーブルが接続されていないなど)		
名前:プロジェクター名が表示されています。			
映像ソ	ース:選択している入力端子が表示されます。		
CHERP 1	コンピュータ		
00000	BNC		
🕞 s	S-ビデオ		
	ビデオ		
	<u>DVI</u> »		
	EasyMP		

EasyMP 活用ガイト	ТОР

エラー情報:プロジェクターに異常が生じた場合、その状態を以下の アイコンで示します。			
	ランプ交換勧告	新しいランプと交換します。 ●『取扱 説明書』「付録 ランプの交換方法」	
8	高速冷却中	『取扱説明書』の「インジケータの見	
	ランプ異常	方」をご覧になり処置を行ってくださ	
1	内部高温異常	v .	
	内部異常		
5	ファン異常		
2	温度センサ異常		

登録したプロジェクターに対して、一括して電源の ON/ OFF や映像ソースの切り替えができます。制御の対象と なるプロジェクターを選択し、目的の操作のボタンをク リックします。

登録したプロジェクターすべてを選択したい場合は、「全て選 択」ボタンをクリックします。また、Windows でのファイル選択 と同様に、範囲の先頭の行をクリックし、キーボードの[Shift] キーを押したまま最後の行でクリックすると、その間の行がす べて選択されます。[Ctrl]キーを押したままクリックすると、 選択と解除を交互に指定できます。

) E 77'	MP Moni (114)E)	itor 編集(E) 表示(L) ツール(E) ヘルプ(E)		
	2.	新表示 (学) プロジェクター登録		
	プロジェク	79-		
	状態	名前	映像ソース	
	0	PROJECTOR01	1	
	0	PROJECTOR04		
	Q	Room202	📾 s	
		Room301	R	
	<u></u>	Room402	2	
				<u> </u>

ボタンと動作内容は次の表のとおりです。

「詳細表示」	選択したプロジェクターの詳細情報を表示しま オ
~~~	90
■電源ON	プロジェクターの電源をONにします。
<ul><li>● 電源OFF</li></ul>	プロジェクターの電源をOFFにします。
コンピュータ	[コンピュータ]端子からの映像に切り替えます。
BNC	[BNC]端子からの映像に切り替えます。
🗟 S-ビデオ	[S-ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
■ビデオ	[ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
<u>■ DVI</u>	[DVI]端子からの映像に切り替えます。
EasyMP	EasyMPの映像に切り替えます。

10 終了するには、「ファイル」ー「終了」を選択するか、右上の 「<br />
「<br />
メリボタンをクリックします。

## メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくと、プロジェクターが異常/警告状態になると、設定したメールアドレスに対して自ら異常状態を電子 メールで通知してきます。これにより、プロジェクターの異常を離れた場所にいても知ることができます。



- ●送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「高度な設定1」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、監視ができます。

メール通知機能を使用する前に、次の点をご確認ください。

 プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは 有線LAN接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をし ておきます。
 『EasyMPセットアップガイド』「アクセスポイント モードまたは有線LAN接続モードで接続する」

#### ■ メール通知の設定

メール通知の設定は、Network Screen のアクセスポイント詳細設定 画面または有線LAN詳細設定画面のメール画面で設定します。 ●『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは 有線LAN接続モードで接続する」

## ■ 異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定した IP アドレス ** に、件名が「EPSON Projector」 と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの 異常を通知するメールです。

メールの本文には次のことが記載されています。 1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名 2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス 3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す 内容は次表のとおりです。

メッセージ [※]	原因	対処方法
Internal error	内部異常	☞『取扱説明書』「インジ
Fan related error	ファン異常	ケータの見方」
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature	内部高温異常	
error	(オーバーヒート)	
High-speed cooling in	高速冷却中	
progress		
Lamp replacement	ランプ交換勧告	
notification		
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号
		が入力されていません。接
		続状態や、接続している機
		器の電源が入っているかを
		催認してくたさい。

※メッセージの最初に(+)や(-)がつきます。

(+):本機に異常が発生した場合

(-):本機の異常が対処された場合

## SNMPを使って管理する

コンピュータとプロジェクターを無線 LAN のアクセスポイント モードまたは有線 LAN 接続モードで接続すると、SNMP と SNMPマ ネージャプログラムを使ってコンピュータからプロジェクターの 監視、制御、異常報知を実行できます。



- SNMPを使った管理機能は、SNMPマネージャプログラムを使用します。そのため、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が必ず行ってください。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANの簡単接続モードでは使用できません。

37

EasyMP 活用ガイド

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますの でご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われ たり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更さ れたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご 了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を 装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

#### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外 で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、 その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくク ラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていま すが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障 害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてくだ さい。

#### 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあり ます。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用される ことをお薦めします。

#### 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

#### 商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。 Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。 Windows、WindowsNTは米国マイクロソフト社の商標です。 ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。 EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。 Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group. The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十 分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。